

# 第三回C-IPP研究会 「受け取る・引き継ぐ」デスカンファ ”緩和ケアにおける経験の深め方”



”職域の違う多職種で患者さんから頂いた学びを共有しましょう”

”デスカンファレンスを実施したことがありますか？”

我々専門職は患者さんとの関わりを通して日々成長させていただきますが、亡くなった患者さんとの関わりをチームで振り返るカンファレンス（通称デスカンファレンス）を経験したことがある方はどれくらいいらっしゃるのでしょうか。今回は講演者、自身の経験を振り返り、みんなで共有することで学びを深めましょう。

”多職種での緩和ケアを振り返り、共に考える”

緩和ケアでは、患者さんが私たちの大切な“教科書”です。患者さんと共に歩んだ日々で経験したケアやコミュニケーションから学ぶ、つまり患者さんの命と背中が大切なことを教えてくれるのではないのでしょうか。旅立った患者さんとの日々を個々が振り返り、これから出会う患者さんのために緩和ケアの質を向上していきましょう。



## 講師：田上恵太 医師 プロフィール

宮城県出身、元千林住民&マルチメディアカフェCan-do今福鶴見店員、関西医科大学卒。東北労災病院腫瘍内科、国立がん研究センター中央病院・東病院、東北大学で専門的緩和ケアの臨床・研究に取り組む。2023年8月よりやまと在宅診療所登米院長、及び緩和ケアアウトリーチプロジェクトを通した”IPP”の概念の確立を奥先生と目論む。

## 開催案内

**日時** 2024年3月28日(木) 18:00-19:30

**申込** 下記QRより

**会場詳細**

**タイムテーブル**  
17:45～ 受付開始  
18:00～ デスカンファ事例発表（座長：田上先生）  
18:30～ 参加者皆さんの経験を通して  
19:00～ 場作りに関するポストレク（座長：奥先生）

**場所** 大阪市立総合医療センター（都島区都島本通2-13-22）  
都島センタービル1階 大会議室A

**参加費** 無料（投げ銭箱あり）



主催：C-IPP(in City - Integration of Primary care & Primary care)研究会  
研修場所提供：大阪市立総合医療センター

※開催場所は医療センター  
ロータリー挟んで向いのビル  
になりますのでご注意ください